

国内初となるグライダー曲芸大会が行われる阿武隈川河川敷の角田滑空場



秋空高く自由自在

国内初 グライダー曲芸大会

角田・きょう開幕

角田市内の阿武隈川河川敷で九十一日、国内初のグライダーの曲芸大会「エアロパティックジャパンinかくた」が開催される。グライダーを地域で盛り上げようと、市民団体「スカイネット角田」が中心となって準備を進めてきた。会場では家族連れも参加できるさまざまなイベントも併せて行われる。

世界トップが模範飛行披露

大会には、仙台グライダーの選手を招き、模範グライダーのメンバーを演技を披露してもらう。含む国内四選手が出場。市内には河川敷に角田曲芸飛行用の機体を使って、それぞれが華麗な技を披露する。審査委員長には、世界選手権で六回、域活性化に結びつけようと今夏、若手商人らを中心に市民団体「スカイネット角田」が組織され、同協会と連携して開催準備をしてきた。

同協会によると、グライダーの曲芸を競う大会は国内にはなく、イベント中は国内各地のグライダー教機も滑空場に集結する見込みだという。

大会は九日が練習日で十、十一日が競技会。市内のラジコンクラブによる模範飛行のほか、初日にはペットボトルロケットの実演、イラストコンテストなども計画されている。

会場までの案内、日程などはスカイネット角田のホームページで紹介している。連絡先はスカイネット事務局0224(61)1350。